

Bチャレ チャレンジ部門 実績報告書

団体名	Curina Buddy (キュリナ バディ)	作成日	11月4日
企画名	こども向けイベント「夏休みの宿題を攻略しよう！」		
あなたが考える 文京区の課題	<p>文京区の政策や文社協などをはじめとするこれまでの様々な活動の結果、区内の未就学児や小学校低学年児童の待機率にも大きな効果をもたらしており、幼少児を持つ共稼ぎ世帯にとって大きな恩恵となっている。また、「高齢者が一人にならない」などを目的とした多くの企画や事業の利用によって、区内の高齢者の居場所や活動の機会が充実しているのを感じる。</p> <p>一方、小学校高学年、中学生を対象としたキャリア学習のサポートが不足しており、自身の興味や得意なことが見つけづらくなっている。</p> <p>キャリア学習は、一人一人興味も得意なこと（能力）にそれぞれに異なり、非常に細やかなサポートが必要と思う。私自身の子供たちも通った区立小中学校でもキャリア学習のカリキュラムはあったが、適性検査シートなどを用いた学習や職場体験といった内容にとどまり、さらに個々に応じた体験の機会を作っていくのは大変な時間と労力がある。</p> <p>昨今、学校の先生方には社会問題になるほどの仕事があり、今以上のフォローを学校に求めるのは難しいと考える。</p> <p>さらに、こどもたちにとって将来に夢や期待が持てるような機会は、こどもたちにだけではなく、その親世代の「子育て負担感」が減り、親子とも気持ちにゆとりが持てると考えられる。幼少期の大変さとは違って、「ちょっと難しい」時期の子育てには、経済的支援だけでは対応しきれない大変さがあり、保護者にとってもゆとりを持ちにくい状況であることは、私自身の子育て経験から強く感じる。</p> <p>その上、地域内での新旧世代の関わりが希薄となり、子育ての不安をフォローしていける関係性が不足していることにより、「辛い時に相談できる人がいない」状況も喫緊の課題であると思う。</p>		
実施期間	2025年7月19日～8月31日	実施場所	コーシャハイム千石集会室
対象者	自由研究や読書感想文が小・中学生を中心に、応募申し込み数に余裕があったため、地域の大人も対象とした（ただし、第1回WSについては、実験の性質上、小学4年生以上を対象とした）また、経済的なご事情などを持つ家庭に対しても参加を促し、今回第1回目のWSに片親家庭の児童の参加があった。		

参加者の募集方法	パンフレット、フライヤー配布、HPでの告知、公式SNS(X・Instagram)、協力店舗でのポスター掲示
	<p>今年5月下旬から、ワークショップの講師としてお願いできる、地域にご縁のある方をいろいろな方からの情報を元に探し、今回の「小学生対象で、めったにできない経験を教えられる方」の選定と打診を重ねた。先方のご都合で叶わなかったワークショップもあったが、今回の企画にご賛同いただくことができ、今後（次年度以降）の講師としてご協力いただけるよう、お願いをした。</p> <p>結果6月初旬に、今年は科学部門として東京科学大学の松本義久教授、また読書感想文の講師として出版社編集者でライターの榎本ことは氏（ライターネーム）のお二人にご協力いただくことに決定した。</p> <p>それぞれの講師とメール、LINEを通じて日程の調整を行い、日時の決定後、会場（コーシャハイム千石集会室）の予約を行った。</p> <p>その後、Bチャレへの申請を決め、6月10日に文社協への連絡、6月17日にフミコムへ打ち合わせに伺う。エントリーシートの作成と同時に第1回目となる科学ワークショップについて、細かな内容や準備の備品などの内容を検討。霧箱実験の実験キットについては発注から製品の納品までに3週間ほど必要とのことで、WS前日の7月18日までに納品していただけるよう業者へお願いをした。</p> <p>なお、申請書は6月23日に初回の提出をした後、文社協と質問事項などについての数回のやりとりののち、7月3日に最終の提出となった。第1回目のWSの事前打ち合わせと実験の流れについて、7月11日、スタッフ2名が東京科学大学ゼロカーボンエネルギー研究所の研究室へ直接伺い、必要備品とともに実際の実験を見せていただいた（公式Xに掲載）。その折、参加児童が、当日分かったことを記入するだけで自由研究として提出できるワークシートのご提案をいただき、急遽ワークシートの内容の検討を進める。</p> <p>その後助成金の決定通知を7月16日に電話連絡にていただき、必要備品の購入の他、ワークシートのデザインとシートデータ作成を、Caramel Creationに依頼。7月18日午前中にデータ完成後、プリント作成。一人分ずつワークシートの製本セットをまとめる。</p> <p>霧箱キットが7月17日に到着、受け取り。また科学大より借用実験器具などが到着。</p> <p>第1回WSについては、当日12時に会場集合後、会場設営、遮光のた</p>

実施した事業内容

めのシート（黒画用紙など）を窓に貼り、プロジェクター（個人持ち）のセットや受付準備、実験器具の確認

講師・当日の実験補助学生の到着後、スタッフと一緒に昼食をとりながら全体の流れの確認

13：40より参加者の受付と会場への誘導

参加者枠に余裕があったため、保護者も実験キット実費にて希望の方も参加

参加者は9名（うち子ども6名）で、4名は今回のチラシやSNSを見て初めて参加している（知り合いへの声掛けではない）

14：00より講演・ワークショップの開始（以降文社協田邊さまも同席いただく）

途中休憩と集合写真撮影などを挟み、霧箱実験を各自実験補助学生のフォローとともに進める

16：00ワークショップ終了後、一部の児童や保護者と講師や学生がお茶を飲みながら質問などに答える

子どもたちより、保護者の方が積極的に講師に放射線について不安だったことや、体内に取り込まれた放射性物質についてなど、質問をしていた。

なお、ワークショップ開始時間には間に合わなかったものの、地域の町会長の方も見学に来られ、終了後、講師にいろいろな質問をし、本団体の活動に大変興味お持ちいただいた。

16：40ごろには参加者も解散し、その後講師や学生、スタッフに謝礼金のお渡しと記名をしていただき、片付けをして終了解散

翌日講師と実験補助の方にお礼のメールをお送りする。

7月最終週、2・3回目WS開催準備のため、講師の方と打ち合わせ、必要備品の確認をする。このころ、小学生の夏休みの宿題から読書感想文が省かれるケースが多いことから予約申し込みにキャンセルが発生し始める。最終的に参加児童が2回目・3回目ともに各1名となったことから、講師と相談をし、試験的に2回目WSで、「大人対象の ことばと向き合うワークショップ」を同時開催できないかの打診をし、快諾をいただく。当日までに原稿用紙やワークシートの準備などをする

8月3日 第2回WS当日、9時集合後、会場設営

9：50に参加児童到着、10時より読書感想文WSとスタッフは参加者となって行う「ことばと向き合うWS」の形式での開催をする。

途中、地域（町内）の方も参加され、文章の成り立ちや構成、題材となる単語を使った短文・中文の作成とお互い読み合っ感じたことを共有

	<p>するという充実した時間を持つことができ、次回はおとなへの声掛けも視野に入れることに決定。</p> <p>なお、当該参加児童は2時間で清書まで書き上げることができた。</p> <p>8月31日 第3回WS</p> <p>前回の内容を参考に、同様に開催。</p> <p>文社協より近藤様、田邊様もいらしたため、お二人にも「ことばのワークショップ」の体験をしていただいた。</p> <p>参加児童はこの回も1名のみであったが、集中して2時間半以内で清書まで書き上げることができた。</p> <p>参加者が解散したあと、講師も含め、スタッフで昼食をとりながら今回のBチャレの振り返りと検討課題、今後の事業の話し合いをし、終了後、会場の撤収をした。</p> <p>ワークショップ講師の方々とは、メールなどのほか、コドモカフェ・オトナバーTUMMYでの対面での打ち合わせも行う。資金のない中での運営であったため、Bチャレ助成金の結果によっては実験器具や消耗品などに使える費用も代わり、また参加者の参加費用も変わることもあり、ギリギリまでHPの掲載内容を決定できなかった。</p> <p>また、団体自体が5月に設立して間もないため周知が追いつかず、参加者の募集はパンフレットやポスター、SNSだけでなく、団体スタッフが個人的に声掛けをするなどできる限りの方法を尽くしたが、地域町会掲示板への掲示はなかなか了承が得られず、今回のBチャレ企画としては町会の協力まで行き着くことができなかった</p>																	
事業実施に当たって実際に協力のあった団体・個人	<p>文京区社会福祉協議会</p> <p>コドモカフェ・オトナバーTUMMY</p> <p>株)Adrenge</p> <p>魚留小島商店</p> <p>蕎麦処ひいふうみい</p> <p>月道青果店</p> <p>株)一心社印刷</p> <p>松本義久 (東京科学大学)</p> <p>栗本ことは (編集者・ライター)</p> <p>小田巻善雄 (丸山町会長)</p>																	
収入内訳 《結果》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>金額</th> <th>備考 (件数、単価などを詳しく記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bチャレ助成金</td> <td>200,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加費</td> <td>15,500</td> <td>11名分</td> </tr> <tr> <td>団体補填金</td> <td>294</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入総額</td> <td>215,794</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)	Bチャレ助成金	200,000		参加費	15,500	11名分	団体補填金	294		収入総額	215,794			
品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)																
Bチャレ助成金	200,000																	
参加費	15,500	11名分																
団体補填金	294																	
収入総額	215,794																	

支出内訳 《結果》	品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)
	会場費	19,000	コーシャハイム千石集会室使用費 (7/19,8/3,8/31) 1000円×時間数
	パンフレット・フライ-印刷費	10,480	チラシ等印刷費
	ワークシートデータ作成・印刷費	13,500	caramel creation
	霧箱キット	17,600	20セット
	参加者と講師の交流会茶菓 代、消耗品	18,869	ネクストラップ、紙皿、ク ロス、ポリ袋、文具、材料 費、ペットボトル等
	原稿用紙・付箋	917	
	ワークショップ材料費	2,640	
	備品輸送費	3,280	ワークショップ使用備品輸送
	打ち合わせ交通費・会議費	1,808	事前打ち合わせ交通費往復2 名分
	講師・講師補助・スタッフ弁 当代	26,700	3日分
	講師謝礼金(7/19)	20,000	
	講師補助交通費(7/19)	2,000	2名分
	講師補助謝礼金(7/19)	24,000	4名分
	講師謝礼金(8/3)	15,000	
	講師謝礼金(8/31)	15,000	
	助成金返金	10,000	差額分
	【助成金対象外】スタッフ 謝礼	15,000	3名分
	支出総額	215,794	
	助成交付額/助成金支出総額	200,000/190,794	

	<p>1.当初想定していた成果に対して、達成度合いは10点満点中、何点ですか。その理由も含めて記載してください</p> <p>達成度合い／ 9点/10点</p> <p>理由</p> <p>当初予定していた参加者人数を集客することができなかったこと 地域の町会や小中学校・高校などとの連携をとるのが難しく時間的な余裕がなかったこと</p> <p>以上の点において減点となるものの、設立から2ヶ月での開催・運営ということを加味するとこれが限界であったことは否めない。</p> <p>読書感想文の宿題がなくなっているという現状の把握ができていなかったため参加者のキャンセルを発生したが、逆にそのぶん大人があらためて体験する「言葉と向き合う」ワークショップとの併用事業に柔軟に対応させられ、充実した内容となったことは大きな1歩と考えられる。</p> <p>参加した児童や保護者からも大きな評価をいただいております、「いつも悩みの種であった宿題をストレスなく完成させられたことに感謝」「いつも集中力に欠けて注意散漫な我が子が、この短時間で集中して取り組み完成させられたことがありがたい」などの反響をいただいている</p> <p>さらに、この企画を通して地域に興味を持つ方が増え、本団体の活動に協力したい、と申し出てくださる方が出てきたことは大変ありがたい</p>
	<p>2.企画を行なってみて気付いたこと、改めて確認できたことを記入してください(箇条書でも可)</p> <p>・今の世情や子供達を取り巻く状況・子育て世代のストレスとなっていることにあらためて向き合うことができた。子どもたちが新しい経験に対して大きな反応を見せてくれることに、今まで以上に感動した。子どもたちは親の前では見せない姿を見せることも多く、保護者が気づいていないところで大きな瞬発力や集中力を発揮することに気づいた。子どもの遊び場や居場所の充実に加え、あらためて、子どもたちが「知りたい」「できたことが嬉しい」と感じられる場を広げていくことの重要性を感じた</p>
	<p>3.本企画の開始時に設定した課題は、実際に“文京区の課題”だったことが確認できましたか</p> <p>本企画を通してどのように検証を行ったかを記載してください (分析や考察など)</p> <p>※小中学生のキャリア学習のサポートについて このBチャレ助成事業については「放射線を見てみよう」と「読書感想</p>

企画の成果

文（+大人のことばと向き合うワークショップ）」の2種類の企画のみの事業であったが、これとは別に8月中旬に行った「古代からのメッセージを感じよう」をテーマとするキャンプと自由研究も行った結果もあえて含めて考えてみる。

大人から与えられた既成の学習だけでなく、普段接する機会のない体験をすることにより、子ども自身が面白い！と感じることや興味を持ったことをもっと調べてみたい、と感じることを見つける力に気づくことができるパワーにあらためて感動を覚えた。

夏休みという特殊な期間だからこそ触れられるチャンスを、これからもっと数多く提供できることが必要になる子どもたちも多いことに気づいた。さらに、子どもが体験していく内容に保護者も一緒に加わり子ども以上に大きな感動をしている様子も見られた。この文京区という教育に対して積極的な地域だからこそみられる姿なのかもしれないが、大切な長期休暇をより有効に活用できる“体験の場”を地域で提供する必要性を感じた。

※夏休みの宿題は、本来長期休暇だからこそできる「自分自身で見つける発見や興味」を調べたり観察したりするために課題として出されるものであると思うが、塾の宿題が多いために負担が増えていて、親子ともに負担が増えている、というケースが昨今多く見られると聞く。なかなか時間に余裕のない保護者の負担をできるだけ軽減した地域開催の企画に参加することで、安心して子どもを預けられるだけでなく、同じ体験に親子で参加することにより、より親子での会話になったり感動の共有になったりしているという報告を聞き、今後も必要な企画であることを強く感じた

子どもの教育の必要性に加え、多忙な親の負担感については今後も課題になっていくと思うが、その両方をフォローできるような企画を今後も継続していく必要がある、と考える

4. 本企画を経て、今後の団体の活動の展望についてご記入ください

今回の企画を通じて、この活動をしていなかったら全く関わることのなかったであろう方々との交流が生まれ、さらに来年度の夏休みの子供向けワークショップの講師をお願いできそうな方々との繋がりを持つことができました。（分野も含めてただいま調整中）

そして、私が思っていた以上にこの地域には多くの人材やゆえんのある場所があり、楽しいワークショップを計画している。

また、8月の子供向けイベントが終了したあと、10月に千石ブックメルカード2025とコラボ企画として、旧大鳥神社商店街の道路一部を利用して「キュリナ クラフトビアガーデン2025」の開催、そして11月にはワイン会in TUMMYの開催を予定しています。これは、Bチャレ助成事業の子ども向け企画に加え、大人も楽しみ、日頃のストレスを和らげ、また近隣の方々が和やかなひと時で交流できる一助となるように、との思いから企画している

そして現在のところ上記以降、年明け3月までの企画はほぼ決定しており、年間の企画事業も少しずつ見通しができているところである。「他ではなかなかできない企画」「こんなことをやりたい、やってほしい、という思いをカタチにする」という企画設定の柱ができてきた。

さらにイベントを重ねていくことで、本団体の活動への理解と周知が地域町会に広がっており、繋がりを作っていけていることを感じる。

最後にCurina Budddyの多くのイベントのスタートをBチャレ助成をいただくことで出発できたことに大変ありがたく、感謝の思いであることをあらためて御礼申し上げたい

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ（10枚以内）

※追加別添3：この事業にかかった費用の根拠資料の原本（領収書や支払い明細書など）

【提出先】

E-mail : fumikommu@bunsyakyoo.or.jp

TEL : 03-3812-3044（担当：近藤、田邊）



キュリナ バディ **Curina Buddy** は、地域の力で楽しい企画をつくります

イベント

ワクワク
あなたの中の好奇心

ひろげてみない？

夏休みの宿題を攻略しよう！！

自由研究・自由工作・読者感想文を完成させよう！

自分自身で感じた「感動」や「不思議」を自分の方法で表現して伝えよう

学校や塾では経験できない体験をみんなで共有しよう！

【第1弾】放射線を見てみよう ワークショップ (先着20名限定)

内容：わたし達のまわりは放射線でいっぱい！

「霧箱」という装置を自分で作って、ふつうは見えない放射線を見てみよう

日程：7月19日(土) 14:00～

(受付：13:40～)

対象：小学校高学年以上推奨

(3年生以下の児童は保護者の同伴をお勧めします)

ご参加は、おとなの方でもかまいません

会場：コーシャハイム千石 集会室

(文京区千石3-16-1)

講師：松本 義久 (東京科学大学 教授)

参加費：実験に参加する方 お一人 1,500円

(当日 受付にてお支払ください)

※参加費は、文京区Bチャレ助成金により

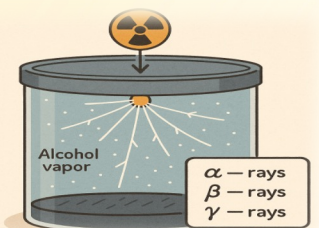
2,000円の減額となりました



HPはこちら



参加申込はこちら



お問い合わせはCurina Buddy (キュリナバディ) Curinabuddy.1059@gmail.com



キュリナ バディ **Curina Buddy** は、地域の力で楽しい企画をつくります

イベント

ワクワク
あなたの**中の好奇心**

ひろげてみない？

夏休みの宿題を攻略しよう!!!

自由研究・自由工作・読者感想文を完成させよう！

自分自身で感じた「感動」や「不思議」を自分の方法で表現して伝えよう

学校や塾では経験できない体験をみんなで共有しよう！

【第2弾】読書感想文を書こう ワークショップ (先着20名限定)

内容：読書感想文の書き方・自分のことばで感想文を書こう

日程：1回目 8月 3日(日) 10:00～

2回目 8月31日(日) 10:00～

※各回同じ内容となっております。どちらかの日程をお選びください

※所要時間は2時間～3時間程度

参加申込はこちら

対象：読書感想文が宿題になっている児童・生徒

会場：コーシャハイム千石 集会室 (文京区千石3-16-1)

講師：栗本 ことは (しおりもと ことは)

編集者・ライター、小説・エッセイ・実用書を執筆・編集

申込み：HPより申込フォームから (詳しくはHPトピックスにて)

参加費：お一人 1,000円

(当日 受付にてお支払いください)

※参加費は、文京区Bチャレ助成金により2,000円の減額となりました



HPはこちら



お問い合わせはCurina Buddy (キュリナ バディ) Curinabuddy.1059@gmail.com



